

テーマ

文化を知れば 日本語学習はもっと楽しい

適用 分野

日本語教育、体験学習、
異文化理解

研究 名称

日本語教育における文化の学習

氏名 所属

森川結花、平井一樹、谷川依津
江 特任講師（国際交流センター）



内容

●**特徴：** 本研究は、オーセンティックな文化体験を通じて、学習者が日本語のみならず日本の社会や文化により深い関心を抱き、同時に日本語学習への動機付けを高めることにつながるカリキュラムと学習内容を構築しようとするものである。

●**研究内容：** 本研究では「文化」を「ある一定の人々が何等かの価値を認めてその所属集団内で伝え引き継いでいく思考や行動の様式」と定義する。「文化」には有形・無形、日常・非日常、伝統・現代等のさまざまな種類のものがある。日本語の場合は、言語表現や言語行動にも文化的要素が非常に大きく、そういう意味で日本語を学んでいく上で日本の文化を学んでいくことも必須のものと考えられている。

甲南大学Year-In-Japanプログラムでは、日本語授業の一環として日本文化体験ワークショップや研修旅行を行い、その中で様々な文化体験活動を行ってきた。現在は甲南大学OB・OGや関係者からの協力を得て、よりオーセンティックな体験学習活動を行っている。今後も「本物体験」を通して学習者の豊かな日本語力を育てるカリキュラムのさらなる充実を目指している。日本語学習者が文化を実際に体験することでどのような内面的な成長をし、それがどのように日本語学習に影響を及ぼすか。また、文化を伝えようとする日本人にはどのような思いがあるのか。両者をつなぐ日本語教師はどのような役割を果たすことができるのか。そのような課題を追求するとともに、成果物として文化体験学習カリキュラムや教材の開発を目指している。



日本文化体験（折り紙）



現代短歌創作



能楽体験

キーワード

体験学習、日本文化、伝統と継承、異文化理解、教師の役割

連携方法

☐ 講演 ☒ 研修 ☐ 研究相談 ☒ 学術調査 ☐ コメント ☒ 共同研究